



2010年 陽春 <第8号>

## — 変える勇気、守る責任 —

新潟県議会議員 (新潟市秋葉区選出)

小林 一 大  
かずひろ 一大

<小林一大 公式ホームページ> <http://www.kobayashikazuhiro.com>



私の好きな言葉であり「人とのつながりと和」を大切にしたいという気持ちを込め、県政報告書の名前とさせていただいております。  
「絆」

■発行日  
平成22年4月30日(金)

■発行元  
新潟県議会議員 小林一大事務所  
〒956-0864 新潟市秋葉区新津本町2-7-10  
TEL 0250-24-8339 FAX 0250-24-8328

twitter やってます。  
アカウントKYRKR\_Kobayashi

陽春の候、皆様におかれましては、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は格別のご支援並びにお引き立てを頂き、ありがとうございます。

政権交代後初めての県予算編成を終え、新年度を迎えた。政治経済、社会に起こる地殻変動が、国民県民一人ひとりに与える影響が不透明な中、期待と不安を抱えながらのスタートとなりました。

国の政治はその統治能力の不安定さが露呈し、政治とカネという私たちの常識的感覚からかけ離れた話題が先行し、目新しく見える政策も真に国民の生活を考えたものなのか、単なる近未来を見据えたばらまきなのかはつきりせず、そんな中残念なのは、最も重視されなければならない将来の我が国のある様の真剣な議論がないがしろにされているということです。

このままでは、政治そのものに対して皆様からの不信感が増大してしまう。私たち地方で政治に携わらせて頂いている者もそのことを、肝に銘じ日々の活動を遂行していくかなければならぬと思っています。

昨今の県政では、そうした国の政策の激変による地域への影響を可能な限り少なくするよう独自の景気・雇用対策、農業・産業政策などに努めています。2月定例会においては、佐渡羽田航空路の問題において、知事と議会の議論が盛んに取り上げられましたが、いずれにせよ、それは行政、議会ともに真剣に県民利益のことを考え、検討した結果とご理解頂ければ幸いです。

私たちは車の両輪として、常に新潟県の安心と安全を念頭におき、政策を遂行しなければなりません。

3年前に当選させて頂いて以来、皆様方のご支援ご協力を頂き、ここまで頑張ることができました。残りの任期1年も、今まで以上に、皆様のご意見を賜りながら、あらゆるものを吸収し多くのご協力者と手を携えて、この秋葉区、新潟県の発展と繁栄のため粉骨碎身努力をさせて頂くこと、ここに改めてお誓いし、ご挨拶とさせて頂きます。

本年度も、何卒ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

小林 一大 プロフィール	誕生日／昭和48年6月12日(36才)	平成 4年新潟県立新潟高校卒業
	血液型／O型	平成 9年東京大学 経済学部経済学科卒業
	好きな食べ物／ラーメン タレカツ丼	平成 9年現・東京海上日動入社
	家族／妻(札幌出身) (35才) 双子の男の子(小学校1年生) 女の子(1才)	平成 14年妻・由実と結婚 平成 17年同社を退職
	趣味／読書、映画鑑賞、旅行 園芸、ランニング	平成 19年新潟県議会議員 33歳で初当選
	座右の銘／ Where there is a will, there is a way 不動心	現在 自由民主党新潟県議会議員 朝日観音普談寺副住職 秋葉区朝日在住

小学校に入学した息子たちと記念撮影

## 平成22年2月定例会討論概要

(自由民主党代表質問抜粋)

□質問／経済復興が進まず、税収落ち込みが続く中、国が公共事業削減を続けるとなれば、県独自の対応も限界があると危惧する。公共事業の経済効果に対する所見と、今後の公共事業抑制への対応は。

■答弁／公共投資は建設業はもとより、商業、サービス業など他産業への波及効果もあり、景気対策として経済を支える有効需要創出に即効性が期待できる。県建設業は、除雪、災害時の安全安心確保のほか、インフラ整備を通じ地域経済と雇用を支え、所得再分配機能に重要な役割を果たす基幹産業であり、特に食糧生産を担う県のインフラを良好に保つため、公共工事効果が県外に流出せず、地域で持続するものに変えていくことが必要。さらに、地域主権の観点から、必要財源が地方に一括交付され、地方で主体的実施できるよう引き続き国に働きかけていく。

□質問／新潟一ウラジオストク、ハバロフスクの各線減便が発表。2往復復活は難しいと考えるが今後の取組は。

■答弁／「新潟空港オンリーワン路線活性化実行委員会」を緊急設置し、副知事がウラジオストク航空本社及び関係機関に路線維持等要請を行った。各線週1便では利便性が低下し、新潟空港を利用する新しい旅行商品造成も厳しくなる。成田便に対抗するには、異なる曜日設定で週2便を確保し、独自ネットワークを形成できる新潟空港を拠点とする航空会社が必要であると考える。

□質問／女性特有のがん撲滅に関し我が党は、がん対策

推進条例制定の趣旨を達成するための施策を要望したが、来年度予算での対応は。

■答弁／従来に加え、新規取組として近年喫煙率が上昇している若年女性対象に禁煙支援等の普及啓発を図る。加えて乳がん及び子宮がんの効果的予防対策について、関係機関と検討を行い受診率向上のため、検診場所に呼ぶのではなく人が集まる場所に検診を出前し、居住を問わずワンコイン検診を実施するなど、受診しやすい検診機会の創出及び女性への確実な情報提供等に取り組む。また、取組結果に基づき、複数の市町村民が同時に検診を受ける仕組み等を職域保健とも連携して検討・促進したい。

□質問／戸別所得補償モデル対策は全販売農家が対象のため、小規模兼業農家等が個別経営を継続する志向が高まり、集落営農の組織化や認定農業者の農地集積鈍化が懸念。このため支援策強化など充実強化が必要だが、モデル対策と担い手育成制度の充実についての所見は。

■答弁／モデル対策は所得政策に舵を切ったものであり、基本的方向として評価する。しかし、引き続き需給調整の仕組みを実施するなどを勘案し、過剰な主食用米生産に対する支援を行うことから、約5千億円もの財源が必要となった。本県モデル事業のように非主食用米等生産のインセンティブを一層高め、主食用米からの作付転換を誘導することや、担い手への支援策の充実が必要。このような仕組みを構築し、例えば約50万トンの主食用米が米粉用米に転換で価格も維持され、その財源も約900億円程度と試算。これにモ

デル対策の主食用米以外への支援額を含めても全体で大幅縮減される。

□質問／消費者の新潟米に対する評価維持に向け努力が必要と考えるが、どのように取り組んでいくのか。

■答弁／ゆるぎない信頼獲得のため、一定以上の品質確保と新潟米が確実に消費者に届く流通体制整備が必要。このため「新潟米食味・品質基準ガイドライン」に基づく区分集荷・販売を推進し、基準に満たない米の用途や販売に道筋を付け、食味・品質が確保された米が消費者に届くよう進め、DNA分析による流通実態調査実施や、間違いない新潟米を表すロゴマークの意義などを情報発信していく。

□質問／地球温暖化やロシア輸出関税引上げ等による木材輸入量減少等を受け、森林整備を加速させ林業活性化のチャンス。越後杉で家づくり総合対策事業等で県産材利用拡大と林業活性化に向けての取組は。

■答弁／県産材利用拡大に向け、カーボン・オフセット制度活用や集約化施設に取組など、安定的供給体制を整備。越後杉で家づくり総合対策の拡充により、木材需要住宅での一層の県産材利用拡大に取組む。また、有識者の税制調査会を設置し、木材輸送過程のCO2排出量などの課税可能性についても調査・検討し、そうした課税の仕組導入ができれば、県内林業活性化にもつながる。このような取組により地域の関連産業が自立回転し、県民共有財産である森林が保全され、その恩恵を持続的に享受できることになる。

## ■所属委員会及び各種役職、所属議連

- 総務文教常任委員会 副委員長
- 少子高齢・青少年対策特別委員会
- 議会広報委員会
- 自由民主党新潟県支部連合会 総務副会長
- 自由民主党新潟県支部連合会 青年部顧問
- 民主党県連戦略会議メンバー
- 自民党新津支部長
- 園芸振興議員連盟
- 観光産業振興議員連盟
- 農政研究議員連盟
- 土地改良議員連盟
- 文化振興議員連盟
- 新潟県「佐渡銀山」世界遺産登録推進議員連盟

## ■各種要望、座談会開催受付のご案内

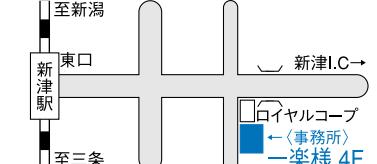
皆様からのご意見、ご要望をいつでも受け付けております。事務所までご連絡下さい。また、3人程度お集まり頂ければ、当方よりお邪魔し、出張ミニ県政報告会を開催させて頂きます。お気軽ににお声かけ下さい。

## ■事務所のご案内

下記住所にて事務所を設置しております。

お気軽に立ち寄り下さい。

新潟県議会議員 小林 一大事務所  
〒956-0864 新潟市秋葉区新津本町2-7-10  
TEL 0250-24-8339 FAX 0250-24-8328  
メールアドレス kobayashik@gikai.pref.niigata.jp



ご質問等ございましたら、事務所までご連絡下さい。ご説明に上がりさせて頂きます。